

な るほど その1 本願寺

阿弥陀堂(本堂)

宝暦10年(1760)再建。
東西42メートル、南北45メートル、
高さ25メートル。
中央に本尊阿弥陀如来の木像、左右に
インド・中国・日本の念仏の祖師七師と
聖徳太子の影像が安置されています。



阿弥陀堂(本堂)

© Hongwanji



御影堂

© Hongwanji

御影堂

寛永13年(1636)再建。
東西48メートル、南北62メートル、
高さ29メートル。
中央に親鸞聖人の木像、左右に本願寺歴代
門主の御影を安置し、重要な行事は、この
御堂で行われます。



安居会法要の様子



お仏壇やお墓へお参りされる時間も大切になさって下さいね。

これから梅雨時期になると、草刈りや農作業に忙しい毎日かと思いますが、ちよつと手を休めて、ご自宅の防ぐために行われました。

さて『安居(あんご)』とは聞き慣れない言葉ですが、これは僧侶が一定期間一ヶ所に集まり、研鑽修養に励むことで、その由来は古代インド(仏教発祥の地)において、雨季に森などを徘徊して草木小蟲を害する事を防ぐために行われました。

住職レター

寺報発行日(毎月二十五日)の前日、安居会法要が無事に勤め終えた今、この住職レターを書いておきます。

その昔は、夏の法要といえ『泥落とし法要』と云われ、田植えが終わった七月の初め頃に勤めておりました。昨今では、田植えが終わると、泥落としと称して、温泉旅行に行かれたりされるようですが、今日は寺参りを優先して下さったのか、思っていた以上に参拝者が多かったです。